

# 平成31年度 授業改善推進プラン 中学年

	平成30年度授業改善プランの検証と調査結果の分析 (○はおおむねできていること、△は課題があること)	授業改善策 (○よいところを伸ばすための方策、△課題を解決するための方策)
国語	<p>○様々な文章について、声に出して読む活動を積極的に取り入れることで、文章に集中し物語の内容の読み取りの向上につながった。</p> <p>○国語で習得した技能を、学級会や様々な教科等で意識させて実践できる指導を行うことで、「話す・聞く」の意欲向上が図られた。</p> <p>△漢字の習得に課題がある児童が多く、定着が不十分である。</p> <p>△「報告文」「レポート」「意見文」などの、書く単元に限らず、自分の考えや感想を明確にして具体的に書き表すことに課題がある。</p>	<p>○継続して様々な文章について、声に出して読む活動を積極的に取り入れ文章理解を図る。</p> <p>○「聞く・話す」能力をさらに高めるために、環境作りや聞く態度の育成に取り組み、意欲的に話すことができる場を意図的に設定する。</p> <p>△漢字の定着のため、小テストを行ったり、テスト範囲を事前に示し練習させる期間をとったりすることで、意欲的に学習する態度を育て学力向上へ繋げる。</p> <p>△「書く」活動を積極的に取り入れ、自分の思いや考えを明確にして具体的に書き表すことができるよう普段の振り返りや感想文などで練習させる。書く手順や良い書き表し方を提示し、語彙力が增える工夫をする。</p>
社会	<p>○調べ学習への興味、関心が高くなり、安全なくらしや昔のくらしの様子など、調査をともなう学習についての問題の正答率が高い。</p> <p>○地図記号を正しく覚えている児童の割合が高い。</p> <p>△提示された資料の中から必要なものを的確に選び、活用していく力が十分ではない。</p> <p>△知識をもとに考察したり、考察したことを適切に表現したりする力を高めていくことが課題である。</p>	<p>○引き続き可能な限り見学や体験を取り入れたり、ICT機器を活用したりして実感のともなった学習を展開し、学習問題を解決する必要性や、関心・意欲を高める。</p> <p>○ビンゴやカルタなどの、楽しく覚えられるような教材を用いたり、慣れ親しむ場を設定したりして、地図記号(3年)、都道府県(4年)の定着を図る。</p> <p>△教科書や地図帳、資料集等のグラフやデータの読み取り方を一つ一つ確認し、社会的事象の根拠となるデータは何かを考察させる。</p> <p>△資料から読み取ったことを書き出して友達同士で交流させる。さらに、そこから考えたことをノートにまとめる活動を取り入れ、資料活用の力を高める。</p>
算数	<p>○簡単な計算や数の小数や分数の計算などの処理ができる児童の割合が高い。</p> <p>○□を使った式や時刻と時間に関する問題への正答率が高い。</p> <p>△2けた以上のかけ算や、あまりのあるわり算の正答率が低い。また、数が大きくなったり、3つの数の混合式のような手順が多い計算になったりすると正答率が下がる。</p> <p>△長さや重さの問題の知識・理解面に課題がある。</p> <p>△図形の特長を理解したり、図を見て同じように作図したりすることに課題がある。</p>	<p>○計算が正しくできる児童が多いので、さらに速く正確にできるように、反復練習をする。</p> <p>○文章題の問題を理解しやすいように図・絵・表などの工夫を取り入れ、具体的に問題の内容を把握できるようにする。</p> <p>△ステップ学習の時間等、短時間で集中してたくさん計算問題を解く活動を積極的に取り入れ、計算力の向上を図る。手順を掲示したり、自分の考えを説明し合う活動を取り入れたりすることで、計算の順序を理解させ、定着を図る。</p> <p>△大きな単位を理解できるように計測したり体験したりする活動を多く取り入れる。学校生活で経験できるような環境づくりをしていく。</p> <p>△ICT機器を活用して図形の特徴を視覚的に捉えさせ、図形についての見方や感覚を豊かにする。</p>
理科	<p>○実験・観察を通して問題解決をすることに対する意欲が高い。</p> <p>△3年生の学習内容では、知識・理解面が目標値よりも低いため、昆虫の体のつくりや植物の育ち方、光の性質についての理解を確実にすることが課題である。</p> <p>△4年生の学習内容では、観察や実験の技能に関する問題の正答率が低いため、観察や実験の機会を増やしていくことが課題である。</p>	<p>○問題解決の際、既習内容をもとに実験したり観察したりする過程を意図的・計画的に取り入れる。</p> <p>△動植物を観察する機会を多く設定し、自然事象に関する知識の定着を図る。</p> <p>△ねらいや視点を明確にして観察をしたり、予想を立て、実験結果から考察をする活動を行ったりする。また、可能な限り一人一人に実験や観察の機会を与えられるよう教具を多く準備し、手に触れて実感をとまわせながら観察や実験の技能を高めていく。</p>

<p>体 育</p>	<p>○運動に対する意欲は高く、進んで運動に取り組んだり自己のめあてに向かって努力したりする児童が多い。</p> <p>○学習カードに記録することにより、努力の成果を認識できた。</p> <p>△自分の課題を見付け、それを解決するための練習方法を考えたり、練習の場を選んだりすることが難しい。</p> <p>△友達と教え合ったり、見合ったりするときのアドバイスの仕方が身に付いていない。</p> <p>△技能面では、体力テストの結果から、持久力の低さが課題である。</p>	<p>○児童の実態に応じて、規則や場の設定を工夫し、児童が自ら課題を見付け、解決していけるように計画を立てる。</p> <p>○学習を振り返り、気付いたことや考えたことなどを友達と交流し、深める時間を設ける。</p> <p>△学習カードや掲示物等を活用し、自分に合うめあてをもたせたり、技能ポイントを理解させたりする。</p> <p>△掲示物やワークシート等で技能習得へのステップが視覚的に分かるようにして、友達と教え合ったり、見合ったりする。またICTを活用して試技を撮影したものを見て、アドバイスし合う活動を取り入れる。</p> <p>△持久力向上のため、体育の授業の始めに3年生は校庭を2周、4年生は3周走る活動を取り入れる。</p>
<p>音 楽</p>	<p>○音楽の表現活動に多くの児童が意欲的に取り組むことができる。</p> <p>○音楽表現の楽しさを感じ取っている児童が多い。</p> <p>△呼吸や発声に気を付けて、無理のない歌い方で歌うようにする必要がある。</p>	<p>○友達との関わり合いの中で発想を広げて共有し、思いや意図をもって意欲的に表現できる活動を引き続き行う。</p> <p>○音楽表現に必要な基本的な技能を身に付け、思いや意図を表現できる活動を継続する。</p> <p>△自分の声の特徴に気付くことを大切にしながら、声の使い方を意識しながら歌うよう働きかける。</p>
<p>図 工</p>	<p>○造形活動に意欲的に取り組むことができる。</p> <p>○感じたことや想像したことから表したいことを見つけることができる。</p> <p>○表したいことに合わせて用具を適切に使い、材料の特徴を生かす力が育まれてきた。</p> <p>△鑑賞する活動を通して、良さや面白さを感じ、言葉に出して表すことに課題がある。</p>	<p>○児童が興味をもつような題材設定を工夫し、自己表現する喜びや達成感を味わわせる。</p> <p>○様々な材料や道具に触れる機会を持ち、形を変えたり組み合わせたりするよさや面白さを味わわせることと、児童にとって身近な視点からイメージしやすい課題のテーマ設定を行う。</p> <p>○用具を適切に使いこなせるよう、児童が理解しやすいように、ICT機器を使いながらポイントを明確にして、見せる。また、机間巡視しながら個別に支援する。</p> <p>△鑑賞活動において感じたことや思ったことを近くの子と話し合ったり、表現の意図を発表したりする等、言語活動をさらに充実させる機会を設ける。</p>